

# 学生便覧 2025年度

## 観光学部 観光学科

B2025-8

---

## 目次

I 教育研究上の目的 .....	2
II 学位授与方針（ディプロマ・ポリシー） .....	2
III 教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー） .....	2
IV 授業科目について .....	3
V 授業科目の単位と認定 .....	3
VI 卒業に必要な単位について .....	3
VII 進級条件及び各学年における標準的な修得単位 .....	4
VIII 授業科目の学年配当と履修すべき単位数 .....	6
1. 全学部共通基盤科目群 .....	6
2. キャリア形成科目群 .....	10
3. 専門基礎科目群 .....	12
4. 専門科目群 .....	13
5. 特設科目群 .....	14

## I 教育研究上の目的

観光学部は、観光に関わる多様な課題に対する、「観光ビジネス」・「観光メディア」・「観光まちづくり」の三つの視点からの、理論と実践を活かした教育研究を通じて、社会が求める実践力と新たな価値を創造する力を身に付け、持続可能な観光に貢献できる人材を養成する。

## II 学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

観光学部 観光学科は、所定の単位を取得し、かつ以下に該当すると判断した場合に、学士（観光学）の学位を授与します。

1. 観光と社会の双方について基本的な知識を身に付け、適切に理解して活用することができる。
2. グローバルな視点から、多様な背景、価値観、文化を持つ人々を理解する教養を身に付け、適切に理解して行動することができる。
3. 国内外でグローバル化が進む社会において求められる語学力、情報リテラシー、プロジェクトのマネジメントについて理解し活用することができる。
4. グループワークに必要なコミュニケーション能力を身に付け、相手の立場に立って考え、共感力を引き出すことができる。
5. 社会人として必要な倫理性を身に付け、多様な価値観を認める寛容さと他者理解の上に立つ共感力、豊かな表現力を持って、持続可能な社会の構築に向けて連携・協働することができる。
6. 現場での活動を通して身に付けた「やり抜く力」を活かし、主体的に課題を発見し、解決に向けて行動することができる。
7. 生涯にわたって学習し自己研鑽を重ねる意欲のもと、社会が求める知識・技能を持続的に高めながら、観光の新しい価値の創出に努めることができる。

## III 教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

観光学部 観光学科では、教育研究上の目的及び学位授与方針に基づき、社会が求める実践力と新たな価値を創造し実行するデザイン力を身に付け、これからの観光ビジネスや地域社会に貢献できる人材を育成するため、以下に掲げる方針によりカリキュラム（教育課程）を編成します。

1. 観光学の基礎となる文理融合型リベラルアーツとして、幅広い教養、新たなリテラシー及び総合的な洞察力を身に付けるため、全学部共通基盤科目群を設置する。
2. 学生生活及び卒業後の社会生活を充実させ、持続的なキャリア形成や生涯学習に資する意識形成及び主体的・自律的な学修方法を修得するため、導入期教育、ポートフォリオ作成を含めたキャリア形成科目、国内外の研修・インターンシップに係る科目からなるキャリア形成科目群を設置する。
3. 裾野が広く変化し続ける観光の専門分野を深く学ぶための基盤となる専門性を体系的に身に付けるため、観光政策や観光資源などの観光学に係る科目に加え、観光ビジネス分野、観光まちづくり分野、観光メディア分野の基礎科目からなる専門基礎科目群を設置する。
4. 旅行、宿泊、交通、飲食、イベント等の観光ビジネス分野で活躍できる人材、地域活性化を牽引する観光まちづくりに貢献できる人材、観光に係る多角的な広報活動・情報発信等の観光メディアに精通した人材を育成するため、観光専門分野の科目からなる専門科目群Ⅰを設置する。
5. 「現場」を通して課題を発見し、新たな価値を創り出す能力を身に付けるため、課題発見・課題解決を実践するプロジェクト型演習科目、広報活動や情報発信のために様々なメディア媒体を活用するメディア系演習科目、理論と実践を深化統合させるための観光ゼミナール及び卒業論文からなる専門科目群Ⅱを設置する。
6. アセスメント・ポリシーに基づく学修アセスメント・プランを提示し、学位授与方針に示す能力の修得状況及び学生の成長に伴う達成度を客観的に測定、評価する。

以上の教育課程の編成に基づき、各授業内容に応じて、知識の習得を目的とする「講義」、知識や理論を組み合わせ実践力を養うことを目的とする「演習」、事象の検証や実践的な応用、技術や技法の習得を目的とする「実習」を取り入れた授業形態を採用します。また、社会のニーズを踏まえた教育を展開することができるよう、主に専門科目群に実務家教員を配置します。さらに、合理的な授業人数の調整や ICT を活用した教育方法を導入し、より効果的な教育を実施します。

#### IV 授業科目について

観光学部観光学科における授業科目は、全学部共通基盤科目群、キャリア形成科目群、専門基礎科目群、専門科目群 I（観光学）・II（ゼミ研究・実践）から構成されている。なお、単位数を○で囲んだ科目は必修を示す。

#### V 授業科目の単位と認定

本学部では単位制を採用している。単位制とは、ひとつひとつの授業科目に一定の基準により定められた単位があり、履修した授業科目に対して、試験その他本学が定める適切な方法により学修の成果を評価したうえで、その単位を認定する制度である。1 単位修得に必要な学修時間は、授業時間外学習時間を含め 45 時間。授業時間に加え、シラバス記載の授業時間外学習も行わなければならない。

単位の認定は、S・A・B・C の 4 段階評価により行い、F の評価は単位を認定しないものとする。なお、N・H は、単位振替により単位を認定したことを示す。

#### VI 卒業に必要な単位について

卒業に必要な単位数は、次の表に示すとおりである。

系列	学科	観光学科
		最低修得単位数
全学部共通基盤科目群		20
キャリア形成科目群		20
専門基礎科目群		20
専門科目群 I（観光学）		20
専門科目群 II（ゼミ研究・実践）		10
各科目群に指定された最低修得単位数以外に、観光学科のすべての科目群、共通基盤科目から選択必修。		34
計		124

## VII 進級条件及び各学年における標準的な修得単位

### 1. 進級条件

- (1) 2年次へ進級するためには、合計で 16 単位以上修得しなければならない。
- (2) 3年次へ進級するためには、1年次の必修科目を含めて 50 単位以上修得しなければならない。
- (3) 4年次へ進級するためには、観光ゼミナールAまたはBのいずれかを含めて 84 単位以上修得しなければならない。  
3年次編入者については、1年次の必修科目並びに観光ゼミナールAまたはBのいずれかを含めて 84 単位以上修得しなければならない。

2. 各クォーターの履修登録については 14 単位を上限とし（SSは6単位、WSは8単位とする。）、年間の履修登録については、原則 42 単位以下（ただし、GPA2.0 以上の場合年間 49 単位まで履修を許可する。）とすること。ただし、学部が教育上適当と認める場合は、履修上限単位数を超えて履修することを認めることがある。

3. 各学年における授業科目及び修得単位数の目安は、次の表に示すとおりである。

学年	単位数の目安
1年次	<p>全学部共通基盤科目群</p> <p>Fundamentals of English I..... 1科目2単位（選択）</p> <p>Oral Fluency I..... 1科目2単位（選択）</p> <p>アカデミック・スキルズ..... 1科目1単位（選択）</p> <p>データサイエンスI..... 1科目2単位（必修）</p> <p>観光の現在と未来..... 1科目2単位（必修）</p> <p>デジタルアプリAまたはB..... 1科目2単位（選択）</p> <p>域学共創プロジェクトA～Jのいずれか1つ..... 1科目2単位（選択）</p> <p>世界遺産のいま..... 1科目2単位（選択）</p> <p>キャリア形成科目群</p> <p>English for Tourism A..... 1科目2単位（選択）</p> <p>English for Tourism B..... 1科目2単位（選択）</p> <p>キャリア形成A..... 1科目1単位（選択）</p> <p>キャリア形成B..... 1科目1単位（選択）</p> <p>キャリア形成C..... 1科目1単位（選択）</p> <p>デジタルメディアAまたはB..... 1科目2単位（選択）</p> <p>専門基礎科目群</p> <p>観光と社会..... 1科目2単位（選択）</p> <p>観光地理概論..... 1科目2単位（選択）</p> <p>旅行ビジネス基礎..... 1科目2単位（選択）</p> <p>観光マーケティング..... 1科目2単位（選択）</p> <p>観光メディアリテラシーA..... 1科目2単位（選択）</p> <p>観光メディアリテラシーB..... 1科目2単位（選択）</p>
修得単位数 38 単位	※指定された各科目群より修得した科目以外に2単位



## VIII 授業科目の学年配当と履修すべき単位数

### 1. 全学部共通基盤科目群

全学部、全学年の学生を対象として設置される科目である。各学部の専門の学びの基盤となる文理の壁を越えた幅広い教養を身に付けることを目的とする。

系列	授業科目	年次および単位数				最低 修得 単位数	備考
		1年	2年	3年	4年		
全学部共通基盤科目群	アカデミック・スキルズ	1				20 単位	1) 必修科目 4 単位、英語 科目より 2 科 目 4 単位を含 み、20 単位 以上選択必修。  2) 外国人留 学生・帰国生 は、必修科目 4 単位、日本 語科目より 3 科目 6 単位を 含み、20 単位 以上選択必 修。 ただし、入学 時に日本語能 力試験 N1 を 取得している 学生は、1) と同様とす る。  3) 日本語科 目の履修は、 外国人留学 生・帰国生に 限る。
	SDGs×大学生	1					
	Fundamentals of English I	2					
	Fundamentals of English II	2					
	Oral Fluency I	2					
	Oral Fluency II	2					
	TOEIC Preparation A	2					
	TOEIC Preparation B	2					
	TOEIC Preparation C	2					
	TOEIC Preparation D	2					
	English for Specific Purposes A	2					
	English for Specific Purposes B	2					
	English for Advanced Studies A	2					
	English for Advanced Studies B	2					
	中国語 I	2					
	中国語 II	2					
	韓国語 I	2					
	韓国語 II	2					
	スペイン語 I	2					
	スペイン語 II	2					
	ドイツ語 I	2					
	ドイツ語 II	2					
	フランス語 I	2					
	フランス語 II	2					
	ハンガリー語 I	2					
	ハンガリー語 II	2					
	ポーランド語 I	2					
	ポーランド語 II	2					
チェコ語 I	2						
チェコ語 II	2						
日本語 I	2						
日本語 II	2						
統合日本語 I	2						
統合日本語 II	2						

系列	授業科目	年次および単位数				最低 修得 単位数	備考		
		1年	2年	3年	4年				
全学部共通基盤科目群	<u>日本語アカデミック・ライティング</u>	2							
	<u>日本語アカデミック・スピーキング</u>	2							
	<u>社会と文化の日本語A</u>	2							
	<u>社会と文化の日本語B</u>	2							
	現象世界をつかむ	データ分析の基礎(解析)	2						
		データ分析の基礎(線形代数)	2						
		自然科学概論	2						
		生命現象の理解とその応用-生命科学	2						
		環境科学	2						
		食環境論	2						
		香りと環境	2						
		情報セキュリティA	2						
		情報社会と情報倫理	2						
		人工知能論	2						
		<u>データサイエンスⅠ</u>	②						
		データサイエンスⅡ	2						
		統計学		2					
		身体の理解	2						
		デジタルアプリA	2						
		デジタルアプリB	2						
		生物からみた環境の仕組み-生態学	2						
		インターネット配信	2						
		現代社会の課題に挑戦する	<u>エリアスタディーズA</u>	2					
			<u>エリアスタディーズB</u>	2					
	<u>観光の現在と未来</u>		②						
	<u>ヘルスツーリズム</u>		2						
	社会心理学		2						
	生活と文化			2					
	生涯スポーツ概論		2						
	スポーツ社会学		2						
	ボランティア論		2						
	<u>国際日本学</u>		2						
	コミュニケーションの基礎		2						
	<u>域学共創プロジェクトA</u>		2						
	<u>域学共創プロジェクトB</u>		2						
	<u>域学共創プロジェクトC</u>		2						
	<u>域学共創プロジェクトD</u>		2						
	<u>域学共創プロジェクトE</u>		2						

系列	授業科目	年次および単位数				最低 修得 単位数	備考		
		1年	2年	3年	4年				
全学部共通基盤科目群	域学共創プロジェクトF	2							
	域学共創プロジェクトG	2							
	域学共創プロジェクトH	2							
	域学共創プロジェクトI	2							
	域学共創プロジェクトJ	2							
	歴史をひもとく	史学概論	2						
		日本の歴史A	2						
		日本の歴史B	2						
		西洋史概論	2						
		アジア史概論	2						
		現代史入門	2						
		人類とモノづくり	2						
		房総の文化と歴史	2						
		科学史	2						
		映像メディア史	2						
		音楽史	2						
		社会の構造的変動をとらえる	政治学入門	2					
			国際関係論		2				
	経済学入門		2						
	経済原論A		2						
	経済原論B		2						
	社会と経営		2						
	社会と会計		2						
	マーケティング論		2						
	広告戦略論		2						
	社会学		2						
	社会調査			2					
	法律学概論		2						
	日本国憲法		2						
	民法A			2					
	商法			2					
	著作権		2						
	社会福祉学A		2						
	社会福祉学B			2					
	経営情報基礎論A		2						
	地理学		地理学A	2					
			地理学B	2					
		世界遺産のいま	2						

系列	授業科目	年次および単位数				最低 修得 単位数	備考
		1年	2年	3年	4年		
全学部共通基盤科目群	世界を創造する	西洋美術	2				
		美学・芸術学	2				
		表象文化研究	2				
		<u>日本の現代文化</u>	2				
		<u>日本の伝統文化</u>	2				
		日本文学概論	2				
		日本の文学(古典)		2			
		日本の文学(近・現代)		2			
		日本語表現	2				
		文学のはじまりー古代ギリシア・ローマの文学	2				
		世界の文学	2				
		演劇研究	2				
		古典芸能研究	2				
		知の知を追究する	教育学	2			
	心理学		2				
	<u>基礎の数学</u>		2				
	ジェンダー論		2				
	根拠への問いー哲学へのとびら		2				
	宗教学概論		2				
	倫理学概論		2				
	文化人類学		2				
	異文化適応論		2				
	比較文化概論		2				
	言語学概論		2				
	心と身体 の充実をはかる	スポーツ科学A	2				
		スポーツ科学B	2				
		スポーツ科学(ダンス) I A	2				
		スポーツ科学(ダンス) I B	2				
		しゃべりのスキル Up I	2				

〔備考〕

下線の科目は学部が履修を推奨する科目を示す。

科目名に I、II と示している科目においては、II を履修するためには I の単位を修得していなければならない。

## 2. キャリア形成科目群

キャリア形成科目群では、英語に加えて中国語、韓国語、ハンガリー語の語学能力向上をはかる。そして、「キャリア形成A～O」や「観光実務」の授業を通じて、社会人に求められる基礎力やコミュニケーション力、ビジネスマナーなどについて学び、「インターンシップ（国内）・（海外）・（長期）」の職業体験につなげる。「国内研修」や「観光ビジネス特別講座」では、実地で学び、現場を肌で感じる。新しい時代の観光情報・メディアに不可欠な情報・メディアリテラシーの基礎について学ぶことに加え、グローバル化する文化や社会、経営のあり方を学び、裾野の広い観光分野の教養を身に付ける。

系列	授業科目	年次および単位数				最低修得単位数	備考
		1年	2年	3年	4年		
キャリア形成科目群	English Skills for International Tourism	2				20 単位	「キャリア形成科目群」の中より、20 単位以上選択必修。  ただし、日本語科目の履修は、外国人留学生・帰国生に限る。
	Reading and Writing for International Tourism		2				
	Discussion and Presentation in Tourism		2				
	English for Tourism A	2					
	English for Tourism B	2					
	中国語Ⅲ		2				
	中国語Ⅳ		2				
	韓国語Ⅲ		2				
	韓国語Ⅳ		2				
	ハンガリー語Ⅲ		2				
	ハンガリー語Ⅳ		2				
	日本語Ⅲ		2				
	総合日本語Ⅲ			2			
	専門日本語（福祉・介護）			2			
	専門日本語（ホテル・観光）			2			
	専門日本語（文学・評論）			2			
	専門日本語（異文化コミュニケーション）			2			
	日本語プロジェクト教育 A			2			
	日本語プロジェクト教育 B			2			
	ビジネス日本語 I				2		
	ビジネス日本語 II				2		
	キャリア日本語 A（就職）				2		
	キャリア日本語 B（進学）				2		
	キャリア形成 A	1					
	キャリア形成 B	1					
	キャリア形成 C	1					
キャリア形成 D		1					
キャリア形成 E		1					
キャリア形成 F		1					
キャリア形成 G		1					
キャリア形成 H			1				
キャリア形成 I			1				
キャリア形成 J			1				

系列	授業科目	年次および単位数				最低修得 単位数	備考
		1年	2年	3年	4年		
キャリア形成科目群	キャリア形成K			1			
	キャリア形成L				1		
	キャリア形成M				1		
	キャリア形成N				1		
	キャリア形成O				1		
	観光実務	2					
	国内研修		2				
	海外研修A		2				
	海外研修B		2				
	海外研修C		2				
	インターンシップ（国内）			2			
	インターンシップ（海外）			2			
	インターンシップ（長期）			6			
	観光ビジネス特別講座		2				
	デジタルメディアA		2				
	デジタルメディアB		2				

〔備考〕

中国語、韓国語、ハンガリー語のそれぞれにおいて、Ⅲを履修するためにはⅡの単位を修得していなければならない。

中国語、韓国語、ハンガリー語のそれぞれのⅣも同様に、同Ⅲを修得していなければならない。

### 3. 専門基礎科目群

専門基礎科目群は、観光学の基礎となる知識を身に付ける科目で構成されている。観光メディア・観光まちづくり・観光ビジネスという観光学の3つの主要領域の基礎的知識ならびに観光関連科目を学ぶとともに、あらゆる職業領域において必要不可欠なホスピタリティについて学ぶ科目群である。

系列	授業科目	年次および単位数				最低修得単位数	備考
		1年	2年	3年	4年		
専門基礎科目群	観光と社会		2			20 単位	「専門基礎科目群」の中より、20 単位以上選択必修。
	観光人類学			2			
	観光行動論			2			
	観光地理概論		2				
	観光政策			2			
	旅行ビジネス基礎		2				
	観光まちづくり概論			2			
	観光マーケティング		2				
	観光と芸術			2			
	観光と自然資源			2			
	観光と文化財			2			
	観光と食農・漁業			2			
	観光メディアリテラシーA		2				
	観光メディアリテラシーB		2				

4. 専門科目群

専門科目群は、「専門科目群Ⅰ（観光学）」「専門科目群Ⅱ（ゼミ研究・実践）」の2分野からなり、観光学の専門分野からなる科目、プロジェクト型科目、ゼミナールなどを大きな柱としている。

(1) 専門科目群Ⅰ（観光学）

専門科目群Ⅰは、観光ビジネス・観光まちづくり・観光メディアという観光学の3つの主要領域を専門的に学ぶ科目群である。

系列	授業科目	年次および単位数				最低修得単位数	備考
		1年	2年	3年	4年		
専門科目群Ⅰ (観光学)	ニューツーリズム		2			20 単位	「専門科目群Ⅰ（観光学）」の中より、20 単位以上選択必修。
	観光ビジネス経営管理			2			
	旅行ビジネス			2			
	ホテル・旅館ビジネス			2			
	エアラインビジネス			2			
	観光交通			2			
	イベント・ブライダルビジネス			2			
	アジア観光研究			2			
	欧米観光研究			2			
	観光まちづくり事例研究			2			
	地域観光		2				
	観光地経営			2			
	開発経済学			2			
	地域デザイン			2			
	観光メディア制作基礎A			2			
観光メディア制作基礎B			2				

(2) 専門科目群Ⅱ（ゼミ研究・実践）

専門科目群Ⅱでは、プロジェクト教育の徹底と各専門分野の追究のために設けられた科目群である。

「観光プロジェクトA・B」は地域密着型のプロジェクトに参加しつつ学ぶものであり、観光ビジネスや国際的な観光の現場、メディアの活用、将来各地に根づいてまちづくりを行いたい場合に有用な科目である。

3・4年次には、全員がいずれかのゼミナールに所属してそれぞれの専門知識を深めつつ、自己のテーマを一貫して研究する。

系列	授業科目	年次および単位数				最低修得単位数	備考
		1年	2年	3年	4年		
専門科目群Ⅱ (ゼミ研究・実践)	観光プロジェクトA		2			10 単位	専門科目群（ゼミ研究・実践）の中より、必修科目を含み10単位以上選択必修。 観光ゼミナールA、B、Cについては2科目以上選択必修。 ただし、「観光ゼミナールA」を2年生から、「観光ゼミナールC」を3年生から履修できるのは9月入学の外国人留学生・帰国生に限る。
	観光プロジェクトB		2				
	観光メディア制作応用A			2			
	観光メディア制作応用B			2			
	観光ゼミナールA		2				
	観光ゼミナールB			2			
	観光ゼミナールC			2			
	観光ゼミナールD				②		
卒業論文				4			

5. 特設科目群

外国人留学生・帰国生のための日本語科目を配置する。本科目群は、原則として指定された者のみ履修でき、修得単位は卒業単位には含まれない。

系列	授業科目	年次および単位数				最低修得単位数	備考
		1年	2年	3年	4年		
特設科目群	日本語（言語知識）		2				指定された外国人留学生・帰国生のみ履修することができるが、卒業単位には含まれない。
	日本語（読解・聴解）		2				
	日本語A		2				
	日本語B		2				
	日本語C		2				
	日本語D		2				
	日本語E		2				